

令和8年第4回ひたちなか市
教育委員会3月臨時会

日 時 令和8年3月24日(火)
午後5時から5時30分
場 所 市役所第3分庁舎 教育長室

次 第

1 開 会

2 教育長のあいさつ及び開会の宣告

3 議案審議等

- (1) 議案第3号 ひたちなか市教育委員会事務局等の職員の人事について
- (2) 議案第4号 ひたちなか市立幼稚園の園長の任命について
- (3) 議案第5号 ひたちなか市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

4 その他

- (1) ひたちなか市教育委員会「市立学校運営方針2026」について
- (2) ひたちなかふるさと体験プログラムについて

5 閉 会

議案第 5 号

ひたちなか市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保
措置実施計画について

ひたちなか市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画につ
いて別紙のとおり制定する。

令和 8 年 3 月 2 4 日 提出

ひたちなか市教育委員会
教育長 秋 本 光 徳

令和 年 月 日 議決

ひたちなか市立学校の教育職員に関する
業務量管理・健康確保措置実施計画
(案)

令和8年4月

ひたちなか市教育委員会

目 次

1. 計画の趣旨・現状	2
2. 目 標	3
3. 計画の期間	3
4. 実施する業務量管理・健康確保措置の内容	5
5. 関連する取組, 今後のフォローアップについて	8

1. 計画の趣旨，現状

(1) 計画の趣旨

令和7年6月，公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律（令和7年法律第68号。以下「給特法等一部改正法」という。）が公布され，令和8年4月1日（一部の規定については，公布の日又は令和8年1月1日）から施行されることとなった。

給特法等一部改正法第1条において，公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（昭和46年法律第77号。以下「給特法」という。）第8条第1項が新設され，教育委員会は，文部科学大臣が給特法第7条に基づき定める指針に即して，業務量管理・健康確保措置実施計画を定めることとされた。

本計画は，教育職員の勤務状況を改善し，教育職員の働きやすさと働きがいとを両立し，働き方改革を通じて，教育職員が事務作業を効率化し，子どもと向き合う時間や授業改善の時間を確保できるようにするため，教育職員の業務量を適切に管理し，健康の確保を図るために策定するものである。

(2) 本市の現状

- 本市では，令和2年4月に，所管に属する学校の教育職員の在校等時間の上限に関する方針として，「ひたちなか市立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針に関する規則」を定め，在校等時間の管理及びその時間の縮減に取り組んできた。
- こうした取組の結果，本市における教育職員の時間外在校等時間の状況について，令和6年度は以下のとおりであった。

【令和6年度の時間外在校等時間の状況】

	年平均 (1月あたり)	月45時間を 上回る割合	月80時間を 上回る割合
小学校	34時間13分	27.79%	0.14%
中学校	40時間45分	44.86%	2.22%
全校種	36時間35分	33.94%	0.89%

時間外在校等時間が月45時間を超える割合は，小学校で27.79%，中学校で44.86%となっている。

- 令和7年12月から令和8年1月に業務量調査アンケートを実施し，負担を感じる業務について聞いたところ，「学習評価や成績処理」，「調査・統計等への回答」，「保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応」などについて「非常に負担が大きい」「やや負担が大きい」と回答した教育職員が多かった。
引き続き，関係機関や地域などと連携を図ることによって，教育の質の向上のために必要な時間的余裕を生み出し，「教師が教師でなければできない業務」に専念できるようにすることが必要である。
- これらのことを踏まえ，本計画を策定するものである。

2. 目 標

本計画において達成を目指す目標は以下のとおり。

※〔 〕：令和6年度の数値

(1) 時間外在校等時間に関する目標

ア 1箇月時間外在校等時間が45時間以下の割合を100%にする。

〔小学校：72.21% 中学校：55.14%〕

イ 1年間における1箇月時間外在校等時間の平均時間を30時間程度にする。

〔小学校：34時間13分 中学校：40時間45分〕

(2) ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標

ア 年間の年次有給休暇の平均取得日数を14日以上にする。〔12.6日〕

イ 教育職員が、児童生徒や保護者との信頼関係の構築や専門性の発揮などにより、生き生きと教育活動に取り組み、働きがいを実感できることを目指す。

3. 計画の期間

令和8年度～令和11年度とする。

【年度ごとの目標値】 ※上記2の(1)

ア 1箇月時間外在校等時間が45時間以下の割合を100%にする。

年 度	小学校	中学校
令和8年度	79%	66%
令和9年度	86%	77%
令和10年度	93%	88%
令和11年度	100%	100%

イ 1年間における1箇月時間外在校等時間の平均時間を30時間程度にする。

年 度	小学校	中学校
令和8年度	33時間	38時間
令和9年度	32時間	36時間
令和10年度	31時間	33時間
令和11年度	30時間	30時間

《参考》学校と教師の業務の3分類（文部科学省）

- 教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、服務監督教育委員会は、これらの分類を踏まえて「業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定。
- 学校は、学校運営協議会での議論等を踏まえ、地域の実情に応じた運用を行う。

■学校以外が担うべき業務

- ① 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等
- ② 放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応
- ③ 学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）
- ④ 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等
- ⑤ 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応

■教師以外が積極的に参画すべき業務

- ⑥ 調査・統計等への回答
- ⑦ 学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理
- ⑧ ICT 機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理
- ⑨ 学校プールや体育館等の施設・設備の管理
- ⑩ 校舎の開錠・施錠
- ⑪ 児童生徒の休み時間における安全への配慮
- ⑫ 校内清掃
- ⑬ 部活動

■教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

- ⑭ 給食の時間における対応（食に関する指導については、栄養教諭等が対応）
- ⑮ 授業準備
- ⑯ 学習評価や成績処理
- ⑰ 学校行事の準備・運営
- ⑱ 進路指導の準備
- ⑲ 支援が必要な児童生徒・家庭への対応

4. 実施する業務量管理・健康確保措置の内容

本市では、本計画期間中の重点事項として、以下の内容に取り組む。

(1) 「業務の3分類」を踏まえた業務の見直し

ア 学校以外が担うべき業務

①登下校時の通学路における日常的な見守り活動等（「3分類」①関係）

- ・ 学校運営協議会等を通じて保護者・地域住民等の理解を得て、ボランティア等を募集

【令和8年度実施】

②放課後から夜間などにおける校外の見回り，児童生徒が補導された時の対応

（「3分類」②関係）

- ・ 放課後から夜間における見回りについては，学校における自主的な見回りは原則行わない。

【令和8年度実施】

- ・ 学校警察連絡協議会において，補導された児童生徒の引取りについては，保護者が第一義的な責任を負うことについて認識を共有。

【令和8年度実施】

③学校徴収金の徴収・管理（「3分類」③関係）

- ・ 既に公会計化している給食費を除く学校徴収金について，校内で現金を使用しない効率的な徴収方法に変更。

【令和8年度検討，9年度実施】

④保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応

（「3分類」⑤関係）

- ・ 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等に対し，「複数人による対応」「対応時間は原則1時間以内」「毅然とした対応」など，対応に関する留意事項を策定。

【令和8年度実施】

- ・ 引き続き学校を挙げての組織的な対応や，関係機関との連携，スクールロイヤーの活用などを推進。

【令和8年度実施】

イ 教師以外が積極的に参画すべき業務

⑤調査・統計等への回答（「3分類」⑥関係）

- ・ 学校へ依頼している調査・統計等について、内容を精選し回答時期を集約。
【令和8年度実施】
- ・ 市から学校に発出する調査の回答に係る事務負担を、校務支援システムの機能等を十分に活用することにより軽減。
【令和8年度実施】

⑥児童生徒の休み時間における安全への配慮（「3分類」⑪関係）

- ・ 学校運営協議会等において保護者・地域住民等の理解を得て、ボランティアによる見守りを推進。
【令和8年度検討，9年度実施】

⑦校内清掃（「3分類」⑫関係）

- ・ 校内清掃の実施回数や範囲の合理化により負担軽減を促進。
【令和8年度検討，9年度実施】
- ・ 学校運営協議会等において保護者・地域住民等の理解を得て、ボランティアによる清掃の見守りを推進。
【令和8年度検討，9年度実施】

⑧部活動（「3分類」⑬関係）

- ・ 令和8年度より，原則，休日の全ての部活動の地域展開として，地域クラブ活動を重視する。
【令和8年度実施】
- ・ 平日の部活動については，活動時間等の適正化を図り，休日の整備状況を鑑みながら，準備が整った団体から地域展開を実施。
【令和8年度研究，9年度・10年度準備，11年度実施】

ウ 教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

⑨給食の時間における対応（「3分類」⑭関係）

- ・ 給食時における児童生徒の見守りについては，児童生徒の発達の段階や実態を踏まえつつ，学級担任のみならず教育職員等による緊急時に備えた組織的な体制を構築しながら，教職員の休憩時間確保に努める。
【令和8・9年度研究，10年度検討，11年度実施】

⑩授業準備、学習評価や成績処理（「3分類」⑮⑯関係）

- ・ 校務支援システムの機能を活用することによって、授業準備や成績処理等に係る事務負担を軽減。県の推進する共同利用校務支援システムへの移行
【令和8・9年度準備，10年度実施】
- ・ 自動採点技術等を活用することによって、採点作業に係る事務負担を軽減。
【令和8年度研究，9年度検討，10年度実施】
- ・ 定期テストの回数や通知表の見直し。
【令和8年度研究，9年度研究，10年度実施】

⑪学校行事の準備・運営（「3分類」⑰関係）

- ・ 保護者，学校運営協議会の理解を得て，学校行事を精選。
【令和8年度検討，9年度実施】
- ・ 学校行事に係る関係機関との日程調整，物品の準備等業務について，支援スタッフとの協働を促進。
【令和8年度検討，9年度実施】

⑫支援が必要な児童生徒・家庭への対応（「3分類」⑲関係）

- ・ 児童生徒の課題の状況に応じ，養護教諭やスクールカウンセラーなどの専門人材と教師が協働し支援を促進する。不登校児童生徒への対応では，支援員の活動内容を見直し，継続的な支援が行えるよう体制の充実を図る。
【令和8年度実施】

(2) 学校における措置の推進

学校において以下の措置を推進することで，教育職員が担う業務の適正化を図る。

- ・ 各学校の教育課程における年間総授業時数や週当たり授業時数については，年度当初の計画段階で真に必要な時数となるよう設定する。特に，標準授業時数を大幅に上回って（小4以上は年間で1086単位時間以上）編成されている場合には見直す。
【令和8年度実施】
- ・ 打合せや平日の部活動を勤務時間内に終わらせるなど，一日課表を工夫。
【令和8年度検討，9年度実施】
- ・ デジタル技術の活用により校務を効率化。
【令和8年度研究・検討・実施】
- ・ 電話の通話予告アナウンス及び通話録音機能を全校設置。
【令和8年度検討，9年度実施】

(3) 教育職員の健康及び福祉の確保に関する取組

教育職員の健康及び福祉を確保するため、労働安全衛生法等の規定を遵守するとともに、以下の内容に取り組む。

- ・ 1箇月時間外在校等時間が80時間を超えた教育職員と校長が面談を行い、面談の状況を市教育委員会へ報告することとする。また、1箇月時間外在校等時間が80時間を超える状況が改善しない場合は、市教育委員会が直接当該職員と面談し、校長に対して状況の確認及び指導を行い、学期内であっても事務分掌の変更を行う。

【令和8年度実施】

- ・ 11時間を目安とする勤務間インターバル確保の考え方の普及を図る。

【令和8年度実施】

- ・ 心身の健康問題についての相談窓口を周知する。

【令和8年度実施】

- ・ 年次有給休暇についてまとまった日数連続して取得できるよう、チーム担任制や教科担任制を未実施校について推進。

【令和8年度研究，9・10年度準備，11年度実施】

- ・ 長期休業等の期間中に8日間の一斉閉校期間の設定を行う（現行7日間）。

【令和8年度検討，9年度実施】

5. 関連する取組，今後のフォローアップについて

- 取組の着実な実行を図るため、市内各学校の教育職員の在校等時間の状況を把握し、毎年度、ひたちなか市のHPで公表するとともに、定例の教育委員会及び総合教育会議において報告することとする。
- 学校での児童生徒等の支援に当たる医療・福祉に関する人材の確保に当たり、保護者、地域ボランティア、関係部局・関係機関とともに取り組む。
- 目標の達成状況については、それぞれ次の通り把握を行う。
 - ・ 時間外在校等時間の状況 … 時間外在校等時間の集計
 - ・ 年次有給休暇平均取得数 … 年次休暇及び特別休暇の取得状況の調査

- 市教育委員会は、各学校の状況を確認し、本計画の内容に照らして課題が見られるときは、当該学校に聞き取り・指導等を実施する。
特に、時間外在校等時間が長時間となっている教育職員がいる学校や、業務の持ち帰りや休憩時間の確保が課題となっている学校に対しては、速やかに状況が改善されることを目指し、当該年度中であっても当該学校に対する個別の支援・指導を実施する。
- 各学校における働き方改革の取組が進むよう、様々な機会を捉え各学校へ本計画の周知を行うとともに、管理職向けにマネジメント等に関する研修を充実させるなど、市教育委員会からの支援を強化する。
各学校においては、校長のリーダーシップのもと、学校運営協議会における協議等も踏まえつつ、本計画に基づき、教育職員の働き方改革に向けた取組を推進する。
- 保護者、地域の理解を促進するため、保護者や地域の各自治会等に対して、本市における「業務の3分類」をはじめとする業務量管理・健康確保措置の内容について周知を行うとともに、具体の項目について協力を得られるよう取り組む。
- 市教育委員会は、「検討事項」について、必要に応じてヒアリングやワーキングチームの場を設け、そこでの議論等をもとに、首長部局と連携しながら、目標の実現へ向けて取り組む。

自ら考え行動しより良い社会の創造に貢献できる市民の育成
～ こどもを主語とした自由で楽しい学び場づくり ～

【重点方針】「学校アップデート・プロジェクト」(SUP) ～こどもを夢中に、受け手から創り手へ

■ 1 自治的活動による Agency の育成 ～こどもの意見を尊重した魅力ある学校づくり

- 1 学級会、委員会、総会等の活性化 …合意形成・意見表明のトレーニング
- 2 こどもを主体としたルールメイキング等 ～当事者意識・責任感・自己有用感へ
- ☞ 1～2月授業公開（保護者・地域） ※主体的・創造的シビックプライドの醸成

■ 2 探究を軸とした学びのスタイル改革 ～モチベーションと出番を重視した学びを追究

- 1 個別最適・自由進度・AIドリル
- 2 探究（課題解決重視型学習）
- 3 対話的・協働的な学び
- 4 ICT・生成AI活用
- ☞ 9～12月授業公開（保護者・地域）、下■ 3（5）を含め教員は1～5のいずれかを実践

■ 3 英語発信力の向上 ～世界とふれあう自立協働都市をめざして、多文化共生社会へ対応

- All English（5）、茨城高専留学生交流、学校間英会話交流、英語プレゼン発表

■ 4 キャリア形成支援 ～白亜紀層から G1 タワーへ、そして未来へ

- 1 ふるさと体験プログラム（小・遠足等）、ふるさと検定（児童・企業・市民が作問）
- 2 キャリア探検ラリー（小4～中2） ～社会のリアルを学びのモチベーションに

■ 5 学校風土改善 ～自己肯定感を育み、新規不登校・いじめ傍観者ゼロの安心安全な学校へ

- 1 体罰・暴言等、不必要・不合理ルールの根絶 ～教員は命と人権を守るロールモデル
- 2 こどもの観察や教職員間の情報交換の充実、弱音・愚痴を語れる学校・職場づくり
～こどもの困難や問題行動に向き合い共感し、共有し支援する組織体制を充実
- 3 問題発生時における状況把握と迅速・適切な判断・指示のためのガバナンスの強化
- 4 いじめ認知の徹底・迅速化、不登校の日数等フェーズに応じた対応の充実
- 5 ケース会議の実施徹底、医療福祉等専門機関との迅速な連携、学校段階間連携の推進
- 6 こども・教職員・組織の取組の検証と改善の着実な実施（R-PDCA）

■ 6 研修の充実 ～学びのプロに、研究・研修の一体化、ダウンロード型からダイアログ型へ

- 1 セルフマネジメント化 …探究型・ウェビナー（NITS等）・他校参観の奨励
- 2 市教育研究会主体のサークル活動等の推進 …オンライン化・発信（メルマガ等）の促進
- 3 校長による教員育成マネジメントの確立 …中高接続研究（高校授業視察）含む

■ 7 働き方改革の徹底 ～授業を改善しこどもの困難に向き合う本務に専念できる環境を担保

- 1 業務量管理・健康確保措置実施計画実施 ～学校運営協議会で議論、行事等精選を検討
- 2 中学時間外月 45 時間未満 66% …繁忙期分掌変更・平準化、デジタルツール活用促進
- 3 出張・会議の縮減の徹底 …打合せ・連絡のオンライン化の促進
- 4 チーム担任制・教科担任制の推進、複数校遠隔授業の奨励、家庭訪問の奨励

■ 8 地域とともにある学校づくりの推進 ～地域のこどもを地域で育てる、まち全体が学校

- 1 コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進 ～こどもの地域行事参画等
- 2 地域クラブ活動の推進 ～多種多様な活動団体の拡充、平日の地域展開を視野に

ひたちなかふるさと体験プログラム

～ 白亜紀層からG 1タワーへ、そして未来へ ～

令和8年4月

ひたちなか市教育委員会

本市は、**自然・食・歴史**の豊かで誇るべき地域資源を有しています。この「ひたちなかふるさと体験プログラム」は、それらを、感受性にあふれる小学生の時期に遠足等において、社会科副読本の中から飛び出して直接体験してほしい…そうしたねらいから制作しました。体験したことを、本市に学び・育ったアイデンティティとして育てほしいとの願いからでもあります。13の各体験プログラムをきっかけに、大人顔負けの白亜紀層博士とか古墳博士とか魚料理の達人とかが生まれてくれることを期待して止みません。

この体験プログラムに先立って、令和6年度に「ひたちなかキャリア探検ラリー」をスタートしました。こちらは、本市の誇る産業資源である各種事業所の見学・体験をとおり、社会のリアルを授業や進路選択のモチベーションとしてほしい、とのねらいからプロデュースしたものです。小学4年生から中学2年生までを対象としています。

これらの二つを体験した小学5・6年生を対象に、体験の総決算との位置付けで、令和7年度に「ひたちなかふるさと検定」をスタートしました。児童からは自分の通う学校ともう一つ別の学校の問題をセットで考え応募してもらい、市民や協賛事業所からも問題を募りました。各学校で検定を行った後、代表生徒による市大会を行いました。

子どもたちのキャリア形成を支援すること、加えてシビックプライドの醸成と「ひとが咲くまち。ひたちなか」の共創に資することも目的に、これら三事業を一体的に推進していきたいと考えています。

まだ産まれたばかりの企画です。よりよいものに育てていけるよう、皆さまからご批判をいただければ幸いです。


■ご留意いただきたいこと

- 「？」や「！」が生まれるように、現地での説明を見聞きする前か後かなど、活動やQの順序を工夫してあげてください。できるだけ、教科書等で知識をインプットするよりも前に体験できるよう設定してあげてください。
- 各体験プログラムはあくまで参考です。児童の発達段階や学校の実態に応じて、展開を加除再編成しながらご活用ください。
- ご活用後に展開事例や検証結果をお寄せください。それを基に次年度版のブラッシュアップにつなげてまいります。

■体験プログラム一覧 ※①～③：自然、④～⑦：食、⑧～⑬：歴史

No.	タイトル	体験先	頁
①	白亜紀層の時代、磯崎・平磯地区はどういう土地だったろう？	白亜紀層	2
②	磯崎周辺の磯場にはどんな生き物がいるかな？	磯崎海岸	3
③	サギ山にはどんな動植物がいるのだろう？	日立製作所ビルシステム	4
④	米づくりを体験してみよう！	市内の水田	5
⑤	干し芋の原料、さつまいもはどうやってできるのだろう？	市内のさつまいも畑	6
⑥	魚市場ってどんな場所？	那珂湊漁港	7
⑦	水産加工場ってどんな場所？	水産加工場	9
⑧	虎塚古墳や十五郎穴横穴群はどのようにつくられた？	埋蔵文化財調査センター等	11
⑨	平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区は海からどんな恵みを受けてきたらう？	酒列磯前神社等	12
⑩	武田氏館ってどんな場所？	武田氏館	14
⑪	那珂湊のあゆみを知ろう！	禽賓閣跡・反射炉跡	16
⑫	六ツ野公園の平和記念の塔と海浜公園は何を物語る？	六ツ野公園、海浜公園	17
⑬	湊鉄道とともに、いろんな土地をめぐろう！	湊線～阿字ヶ浦駅	19

【展開例】

テーマ	白亜紀層の時代、磯崎・平磯地区はどういう土地だったろう？	
ねらい	○白亜紀層の調査から、地形・地層の成り方を学び、地球の歴史について関心を高める ○発見できた化石がいつの時代の生物で、生息当時はどのような地形だったかについて知る	
準備	救急用品・カメラ (またはタブレット端末) ・軍手・観察記録用紙・水筒	
事前	<input type="checkbox"/> 1 白亜紀だった 8,000 万年前の地球の様子に関する既知を答える Q 1 白亜紀層って何か分かる？ Q 2 白亜紀の地球はどんな時代？ (三択) A ア：今より暖かった イ：今より寒かった ウ：地表が氷で覆われていた <input type="checkbox"/> 2 安全に留意して観察するための注意事項について聞く	
当日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 磯崎～平磯海岸の岩場を観察、写真撮影 Q 1 露出した岩は、なぜ傾いているのか？ (三択) A ア：波で削られた イ：地盤が動いた ウ：雨で削られた ■ 2 磯崎～平磯海岸で岩の観察と化石探し Q 2 何個見つけられたか？ ■ 3 磯崎～平磯海岸の歩道から露頭を観察 Q 3 縞模様はどうやってできた？ (三択) A ア：昔は海で砂や泥が溜まった イ：砂や泥が飛んできた ウ：人が書いた Q 4 縞模様が曲がっているのはなぜ？ (三択) A ア：地面が盛り上がった イ：地面が沈んだ ウ：1回の大地震で地面がゆがんだ ■ 4 露頭と海岸の層に見える岩との違いを観察 ※ 海岸の層に見える岩は直線的に斜めに傾いているものが多い。 	
事後	<input type="checkbox"/> 現地での学びや疑問を地殻変動の動画で確かめたり、調べ学習を行ったりする おすすめ動画サイト：NHK for school https://edu.web.nhk/school/watch/outline/?dAs_id=D0005110458_00000 <input type="checkbox"/> 8000 万年前の平磯海岸の当時の様子を AI で再現してみる	



【計画・引率上の注意点】

- 化石採集禁止の伝達を徹底
- 事前にどの地層を見るのか見当をつけておく
- 緊急時の連絡体制を確認
- 海岸に降りる際の注意事項を伝達、人員配置
- 写真撮影を行う際の範囲を設定



連絡先：教育委員会事務局指導課 029-229-2415 ☎ 現地解説可 (要謝金、茨城生物の会等)

【展開例】

テーマ	磯崎周辺の磯場にはどんな生き物がいるかな？
ねらい	○磯場で生き物を採取・観察する活動を通し、豊かな生態系が存在していることを知る ○地元の誇る豊かな自然資源を保全しようとする態度を育む
準備	観察用バケツ・網、記録用紙、筆記用具、軍手、マリンシューズ、帽子、水筒、救急用品、タオル
事前	<input type="checkbox"/> 1 磯場に関する既知を答える Q どんな生き物に出会えそうか？ (列挙) A カニ、貝類、小魚、海藻など <input type="checkbox"/> 2 磯場での安全に留意して観察するための注意事項について聞く (1) 現地の生物の観察方法や、生物を持ち帰らない・傷付けない等の約束 (2) 安全上の注意 (滑りやすい岩場、波への注意等) (3) 毒やとげのある生物に関する注意 (ゴンズイ・カツオノエボシ等)
当日	<input checked="" type="checkbox"/> 1 潮だまりや岩の下などを観察、写真撮影、生物を採取 Q 1 どんな生物を見つけたか？ (列挙) Q 2 見つけた生き物はどんな動きをしている？ (列挙) Q 3 どんなところをすみかとしている？ (列挙) ※観察終了後、採取した生物は元の場所に戻す <input checked="" type="checkbox"/> 2 生物どうしの関係 (食べる・食べられる) を考える Q 4 カニや小魚は何を食べて生きている？ (列挙) Q 5 Q 4 で出てきた生物は、何を食べて生きている？ (列挙) Q 6 なぜ、カニや小魚はQ 4 の生物を食べるのか？ A 小さい生物は遠くに行けないので、近くのもの食している Q 7 カニや小魚のことを食べる生物はいる？ (列挙) ※「食物連鎖」とそれを成立させるためには多様な生物の存在が必要であることを解説
事後	<input type="checkbox"/> 観察結果を整理し、動画やスライドにまとめる <input type="checkbox"/> 磯場の自然を守るために自分たちにできることを考える



【計画・引率上の注意点】

- 生物採集禁止の伝達を徹底
- 緊急時の連絡体制を確認
- 海岸に降りる際の注意事項を伝達、人員配置
- 写真撮影を行う際の範囲を設定
- 現地撤収時に忘れ物を確認



連絡先：教育委員会事務局指導課 029-229-2415 ☎現地解説可 (要謝金、茨城生物の会等)

【展開例】

テーマ	サギ山にはどんな動植物がいるのだろう？
ねらい	○日立製作所水戸事業所内の森「サギ山」を観察し、生態系が保全されていることを知る ○地球と人間を守るために、自然と産業経済とを両立させようとする態度を育む
準備	観察記録用紙、筆記用具、カメラ（またはタブレット端末）、帽子、水筒、救急用品
事前	<input type="checkbox"/> 1 写真や地図を用いて、サギ山の位置や周辺の様子を確認 ※工場の敷地内にある、勝田駅に近い、工場周辺は人工物が多い Q どんな生物が住んでいると思う？（列挙） <input type="checkbox"/> 2 当日の準備物や安全上の注意事項について聞く
当日	■ 1 担当の方から注意点や観察のポイントを聞き、猛禽類が生息している痕跡を探す (1) 担当の方から説明を聞く …立入範囲、猛禽類（ハヤブサ）が生息している痕跡の見つけ方など (2) 班で猛禽類が生息している痕跡を探す Q 1 猛禽類の行動範囲は？（三択） A ア：巣の周辺数km～十km位 イ：巣の周辺数 m～数百 m ウ：巣から千km位 …上の答えの距離はサギ山からどこまでに当たるかを調べる・きく Q 2 猛禽類は何を食しているのか？（列挙） A 鳩、ムクドリ、ヒヨドリ、スズメ、モグラ Q 3 Q 2 で答えた生き物は何を食べているか？（列挙） A 木の実、枯草、昆虫、カエル、ミミズ ■ 2 担当の方からの説明を聞き、サギ山が守られている理由を考える Q 4 G1タワーの麓&工場群の中になぜ森が残されているのか？ A 企業として自然があってその人間の暮らしであることを伝え続けるため環境保全に努めている
事後	<input type="checkbox"/> サギ山で見つけたことや気付いたことを振り返り、友達と共有する <input type="checkbox"/> 環境保全のためのポスター（例）を作る



【計画・引率上の注意点】

- 工場敷地内であることを踏まえ、活動範囲（立入範囲）を事前に明確にする
- 引率者の役割分担を行い、児童の人数確認を適宜実施する
- 動植物の採取は行わないことを事前に指導する
- 足元（段差、枝等）に注意し、安全確保に努める
- 体調不良やけがが生じた場合の対応体制（連絡・集合場所）を確認しておく



連絡先：教育委員会事務局指導課 029-229-2415

【展開例】

テーマ	米づくりを体験してみよう！	
ねらい	○田植えと稲刈りを体験し、おいしい米ができるまでの農家の方の仕事と苦勞と喜びを知る ○農業における仲間との協力の必要性、農業と自然の重要性を知る	
準備	【田植え】水筒、サンダル、赤白帽子、タオル、救急セット、ブルーシート、着替え 【稲刈り】汗ふきタオル、ビニール袋、軍手、水筒、鎌、ブルーシート、麻ひも、長靴	
事前	【田植え】(5～6月)	【稲刈り】(9～10月)
	<input type="checkbox"/> 田植えに関する既知を答える Q 1 苗と種の違いは？ Q 2 なぜ、田んぼに植える？	<input type="checkbox"/> 稲刈りに関する既知を答える Q 1 苗はどう成長したと思う？ Q 2 お米になるところはどの部分？
当日	■ 1 農家の方から、田植えの方法を聞く …適切な間隔、真っすぐに植える工夫 Q 1 田の水はどこからきている？ ■ 2 苗を植える Q 2 なぜ「苗」を育ててから植える？ A 発芽率の安定、雑草に強い、種の節約 鳥や虫に食べられない等 Q 3 田んぼの水はなぜ「ぬるぬる」で「どろどろ」なの？ A 土の隙間をふさいで水持ちをよくするため Q 4 なぜ同じ間隔で植える？ A 苗が成長したときに、風通しと日当たりを良くして病気を防ぐため	■ 1 稲の色を観察し、稲を刈る Q 1 稲刈りの一番いいタイミングはお米の粒のどれくらいが黄金色になったときか？(三択) A ア：100% イ：90% ウ：80% ■ 2 わらの活用方法を考える Q 2 刈った稲を逆さまに干すのはなぜ？(三択) A ア：乾燥させるため イ：実が取れやすくするため ウ：茎に残った栄養を実に集めるため Q 3 コンバインで稲を刈る場合は、出た「わら」の部分はどうなる？ A 細かく切り刻まれ、田んぼにまいて肥料にする
事後	<input type="checkbox"/> 月に数回、田んぼを見学しに行き、生育状況を調査する <input type="checkbox"/> 各時期の稲の生育具合についてまとめる <input type="checkbox"/> 水かさの推移を調べ、用水の大切さを知る	<input type="checkbox"/> 収穫した米を活用して調理を体験をする <input type="checkbox"/> 脱穀から精米まで行い、食べるまでに必要な作業を体験する <input type="checkbox"/> 収穫祭を実施し、お世話になった農家の方や食物に感謝する

【計画・引率上の注意点】

- 足場が悪い中での活動となるため、転倒やケガの予防を徹底
- 鎌を使用する際は、刃の向きや周囲との距離に十分配慮
- 気温が高い場合、熱中症対策(こまめな水分補給・休憩)を徹底
- 保護者ボランティアに協力を依頼 など

<参考資料>

農業農村の魅力を学べるマンガと動画と授業案(農林水産省補助事業)

<https://www.nhk-ed.co.jp/business/kyozAi/nougyou/n1/>



連絡先：教育委員会事務局指導課 029-229-2415

【展開例】

テーマ	干し芋の原料、さつまいもはどうやってできるのだろう？
ねらい	○さつまいも掘り体験を通して、農家の方の仕事と苦勞を知る ○農業における仲間との協力の必要性、農業と自然の重要性を知る
準備	救急用品・カメラ（またはタブレット端末）・軍手・長靴・体操服・水筒・赤白帽子・マスク
事前	<input type="checkbox"/> 1 干し芋の原料や作り方について既知を答える Q 干し芋は何からできる？ どうやって作る？ <input type="checkbox"/> 2 当日の準備物や安全上の注意事項について聞く
当日	■ 1 さつまいものツルを切り、収穫の方法を聞く Q 1 なぜツルを切るのだろう？ A 邪魔なツルを削除し、さつまいもの場所を分かりやすくするため ■ 2 さつまいもを収穫 Q 2 なぜ大きさに差がある？ A 株どうしの間隔、日当たりの違い、土の栄養の差、水分量の違い、病気や害虫の影響 個体差、植え付けの深さや角度の違い Q 3 おいしく食べるには？（三択） A ア：冷暗所で保存し2週間～1ヶ月後 イ：採れたて ウ：冷暗所で保存し2～3日後 Q 4 Q3の理由はなぜ？（三択） A ア：いもの成分（デンプン）が甘いもの（糖）に変化したから イ：空気中の酸素がサツマイモの中で増えるから ウ：水分が完全に蒸発して軽くなるから Q 5 本市で育てているさつまいもの種類は？（列挙） A 紅はるか、たまゆたか、いずみ、シルクスイート等 ■ 3 農家の方の仕事の苦勞や喜びについて聞く …収穫までの手間、収穫の日の気持ち、苦勞したこと など
事後	<input type="checkbox"/> 可能であれば、農家の方の協力を得て、干し芋作りに取り組む <input type="checkbox"/> 活動内容や気づいたことをまとめ、新たな課題を発見・設定する <input type="checkbox"/> 新たな課題として、さつまいもの品種や加工法について調べ、まとめてスライドや模造紙などで発表する <input type="checkbox"/> 農家の方へ、体験の感想や感謝の気持ちを書いた手紙を送る

【計画・引率上の注意点】

- 虫除け対策（長袖・長ズボン）
- 緊急時の連絡体制を確認
- 交差点での安全確保・現地での看護を徹底
- 現地撤収時に忘れ物を確認

＜参考資料＞

- ・農産物博士になろう（農林水産省） <https://www.maff.go.jp/j/kids/Agri/index.html>
- ・日本一の産地！ひたちなか・東海・那珂 ほしいも協議会 <http://hoshiimo.org/>



連絡先：教育委員会事務局指導課 029-229-2415

【展開例】

テーマ	魚市場ってどんな場所？	
ねらい	○取り扱う魚介類や船や担い手の人々に直接触れる ○地域の水産業が食卓を支えていることを知り、郷土の仕事に対する関心を高める	
準備	【児童】筆記用具、カメラ (タブレット)、質問シート、衛生帽子やマスク	
事前	□ 1 魚に関する既知を答える Q 1 家で普段食べる魚料理、好きな魚料理は何？ Q 2 給食で出される魚介類はどこで獲れる？ □ 2 魚市場、つみれ汁に関する既知を答える Q 3 魚市場に行って何を見たい？ Q 4 つみれ汁を食べたことはある？ □ 3 当日の準備物や安全上の注意事項について説明を聞く	
	当日	■ 1 漁協の競り (水曜日を除く平日 9:30～) または競り場の様子を見学 (1) 漁協か水産課の職員から説明を聞く …競りとは何か、取扱う量・種類・価格 など (2) 競りを見て (答えは職員から) Q 1 何の魚が一番多く獲れるか？ (三択) Q 2 この魚は主にどこに運ばれるのか？ (三択) ■ 2 漁船を見学 ※可能な場合 (1) 乗組員から説明を聞く …船と、道具と漁の仕事 など (2) 児童からの質疑応答 ■ 3 おさかな市場を見学 (1) 産地の県名や国名をメモ Q 3 魚介類はどこ産か？ (列挙) Q 4 那珂湊に水揚げされた魚介類は何か (列挙) (2) 輸送方法を考える Q 5 外国・県外産の魚介類はどのように運ばれてくるの？ ■ 4 漁協調理室にてつみれ汁を調理・試食 (漁協女性部の協力) (1) 漁協女性部の方からの説明を聞く …つみれ汁とその材料や調理法 など ※つみれ：魚 (イワシかアジ) の身を包丁で叩き、すり身を小麦粉等とともに練ったもの (2) 包丁で叩いて丸める部分の調理を行う (3) 振り返り Q 5 つみれはなぜ伝統的な魚料理として残ってきたんだろう？ A ・おいしいから ・魚の骨まで入っていて栄養満点だから ・安くて、手に入れやすい材料だから など
事後		□見学して初めて知ったことや、今後さらに深く調べてみたいことをまとめる □魚介類を口にできるまでにどれくらい多くの人の手間が関わっているかについてまとめ、それを踏まえて川柳 (例) を作る



【計画・引率上の注意点】

- 競りは、休みの水曜日以外でも、船の入港がない場合や天候により、行われなかった場合がある
- 水揚げダイヤルで船の入港状況を確認することができる
(自動音声：029-263-1126)
- 体験乗船する際、複数の職員で見守り、安全確保のため必要な声掛けをする
- 調理実習の際、調理器具を安全に適切に使えるよう見守り、必要な声掛けをする
- 食物アレルギーの配慮が必要な児童については、体験内容を事前に保護者に伝え、どのような形で参加するかの意向を確認しておく



連絡先：ひたちなか市役所 水産課 029-273-0111

【展開例】

テーマ	水産加工場ってどんな場所？	
ねらい	○タコの加工工程や働く人の工夫、流通の仕組みを知る ○地域の水産業が食卓を支えていることを知り、郷土の仕事に対する関心を高める	
準備	探検バッグ、筆記用具、カメラ(タブレット)、質問シート、衛生帽子やマスク	
事前	<input type="checkbox"/> 1 水産加工品(タコ)に関する既知を答える Q1 ひたちなかが「日本一のタコのまち」と言われるのは何が日本一だからか？(三択) A ア：タコの加工量 イ：タコの収穫量 ウ：タコの消費量 Q2 タコはどう数える？ A 杯 ※イカ、カニ、アワビも Q3 タコ料理にはどのような料理がある？(列挙) A タコ焼き、酢ダコ、蒸しダコ、カルパッチョ、タコ飯等 <input type="checkbox"/> 2 当日の準備物や安全上の注意事項について聞く	
当日	<input checked="" type="checkbox"/> 1 代表5人が加工工場を見学 (1)【到着・衛生管理】手洗い・消毒・着替え等の徹底した衛生管理を観察する (2) タコの加工工程について説明を聞く …「原料と洗浄」：冷凍タコの塊の観察、塩揉み、大型洗浄機の体感 「ボイル」：巨大な釜、赤く丸まる変化、湯気や匂いを五感で記録 「選別・梱包」：職人の素早い選別、鮮度を保つパック詰め <input checked="" type="checkbox"/> 2 他の児童が工場の方にインタビュー Q1 ゆでるとどうして赤くなる？ A 加熱により、皮に含まれる赤い色素が溶け出るから Q2 栄養価は？ A 高タンパク、低脂質、低カロリー Q3 墨をはくのはなぜ？ A 天敵から身を守るため ※Q4～Q11は当日確認 Q4 加工しているタコはどこ産？ Q5 どうやって運ばれてくる？ Q6 どこに運ばれて売られていく？ Q7 1日にどのくらいの量、加工している？ Q8 蒸す時間は？ Q9 何人の人が働いている？ Q10 食品を扱う上で、気をつけていることは？ Q11 鮮度がよいタコを選別するポイントは？	
事後	<input type="checkbox"/> 見学メモや写真をもとに「日本一を伝える観光ポスター」を作成する <input type="checkbox"/> 新聞を校内に掲示したり、工場の方へお礼の手紙を書いたりする	







【計画・引率上の注意点】

- 受入上限は約30名（超える場合は日により分ける等）
- かまゆで体験として、代表児童が釜にタコを入れることは可
- 工場には、見学者が入るためのスペースは設けていない
入るとしても代表児童5名程度
- たこの塩もみ体験をする場合、原材料費は実費負担
参考：タコ1尾あたり2～3,000円程度
30名で行うと、7～8尾程度必要



連絡先：教育委員会事務局指導課 029-229-2415

【展開例】

テーマ	虎塚古墳や十五郎穴横穴群はどのようにつくられた？	
ねらい	○虎塚古墳・十五郎穴横穴群、埋蔵文化財調査センターを見学し、遺跡遺物の貴重さを知る ○史跡保存の困難さと重要性を知り、後世に継承していこうとする態度を育む	
準備	救急用品・タブレット端末 (カメラ) ・メジャー (ひも) ・ワークシート・筆記用具	
事前	<input type="checkbox"/> 1 虎塚古墳に関する既知を答える Q 1 何のためにつくられたのか？ Q 2 およそいつ頃つくられたのか？ (三択) A ア : 1800 年前 イ : 1400 年前 ウ : 1000 年前 <input type="checkbox"/> 2 当日の準備物や安全上の注意事項について聞く	
当日	<input checked="" type="checkbox"/> 1 虎塚古墳を観察 ○メジャーやひもを活用し、協力して古墳の外周を測る <input checked="" type="checkbox"/> 2 十五郎穴横穴群を観察 Q 1 何のために掘られたか？ <input checked="" type="checkbox"/> 3 埋蔵文化財調査センターを見学 ○十五郎穴横穴群の出土品である直刀・刀子の説明を聞く (正倉院御物に匹敵) 豪族が力を示すため・死後の世界で使うことを想定して埋めたと考えられている <input checked="" type="checkbox"/> 4 学芸員にインタビュー ※当日確認 Q 2 古墳とは何か、何のためにつくられた？ Q 3 どうしてこの地につくられた？ Q 4 虎塚古墳の形はどのような特徴がある？ Q 5 虎塚と十五郎穴はどちらが古くからある？ Q 6 虎塚古墳の赤の染料は何か？ 赤は何を意味するの？ Q 7 虎塚古墳と同じような装飾古墳 (彩色古墳) はほかにある？	  
事後	<input type="checkbox"/> 見学して学んだことを動画やスライドなどにまとめる <input type="checkbox"/> 古墳や遺跡など市内の他の文化財について調べる <input type="checkbox"/> 彩色古墳が他にあるか、前方後円墳の分布等を調べる	

【計画・引率上の注意点】

- 緊急時の連絡体制を確認
- 見学する際の注意事項を伝達
- 虫除け対策 (長袖・長ズボン)
- 虎塚古墳から十五郎穴横穴群までは徒歩 5 ~ 10 分
- 雨の日の後はぬかるみ (履き物) に注意
- 埋蔵文化財調査センターは月曜日休館
- 帰校する際に忘れ物を確認
- 虎塚古墳の一般公開は春・秋、小中学生 80 円 (団体 60 円)、団体は 20 人以上



連絡先：ひたちなか市埋蔵文化財調査センター 029-276-8311

【展開例】

テーマ	平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区は海からどんな恵みを受けてきたらう？
ねらい	○海との関わりや他地域とのつながりについての歴史を知る ○海や景観のすばらしさを再認識し、観光地としての可能性について考える
準備	地図資料、観察記録用紙、筆記用具、タブレット端末、帽子、飲み物、救急用品
事前	<input type="checkbox"/> 1 磯崎灯台、比観亭跡、酒列磯前神社、阿字ヶ浦海岸の位置を地図で調べる <input type="checkbox"/> 2 当日の準備物や安全上の注意事項について聞く
当日	<p>■ 1 酒列磯前神社近くの比観亭跡下展望台から、海を望む</p> <p>Q 1 ここからの景色は、ある「特別な景色」に選ばれている。それは何？ A 「茨城百景」 ※比観亭跡、酒列磯前神社、海水浴場が含まれる</p> <p>■ 2 「木簡」の写真を見て ※現地で画像・三択を提示</p> <p>Q 2 これは何？ (三択) A ア：絵馬とよばれる江戸時代の木の板 イ：木簡とよばれる奈良時代の荷札 ウ：石碑とよばれる古墳時代の目印</p> <p>Q 3 何が書かれている？ 意味は？ ※読めるところを答える A 常陸国那賀郡酒列埼所生若海藻 (ひたちのくに なかぐん さかつらざき ところえ わかめ) 「ところえ わかめ」 …「で採れた ワカメ」 ※酒列埼とは奈良時代頃の呼称</p> <p>Q 4 この木簡はどこで発掘されたものか？ (三択) A ア：大宰府 イ：平安京 ウ：平城京</p> <p>Q 5 当時の常陸国はどの道 (国々のグループ) だったか？ (三択) A ア：東山道 イ：東海道 ウ：南海道 ※別添地図参照</p> <p>■ 3 酒列磯前神社の樹叢を通り、磯崎灯台へ</p> <p>Q 6 酒列磯前神社はいつ頃の創建と言われている？ (三択) A ア：古墳時代 イ：奈良時代 ウ：平安時代</p> <p>Q 7 荘厳な樹叢はどうして守られたのか？ A 神社内にあったことで、開発から免れた</p> <p>Q 8 磯崎灯台や磯前神社の高台はどういう存在であったか？ A 海産物に恵まれ、古墳・横穴が未発掘で残っており、豊かな土地であった</p>
事後	<input type="checkbox"/> 海が近くにあることが地域の人々に与えた影響について話し合う <input type="checkbox"/> 地域の景観や歴史を題材に川柳 (例) を作る

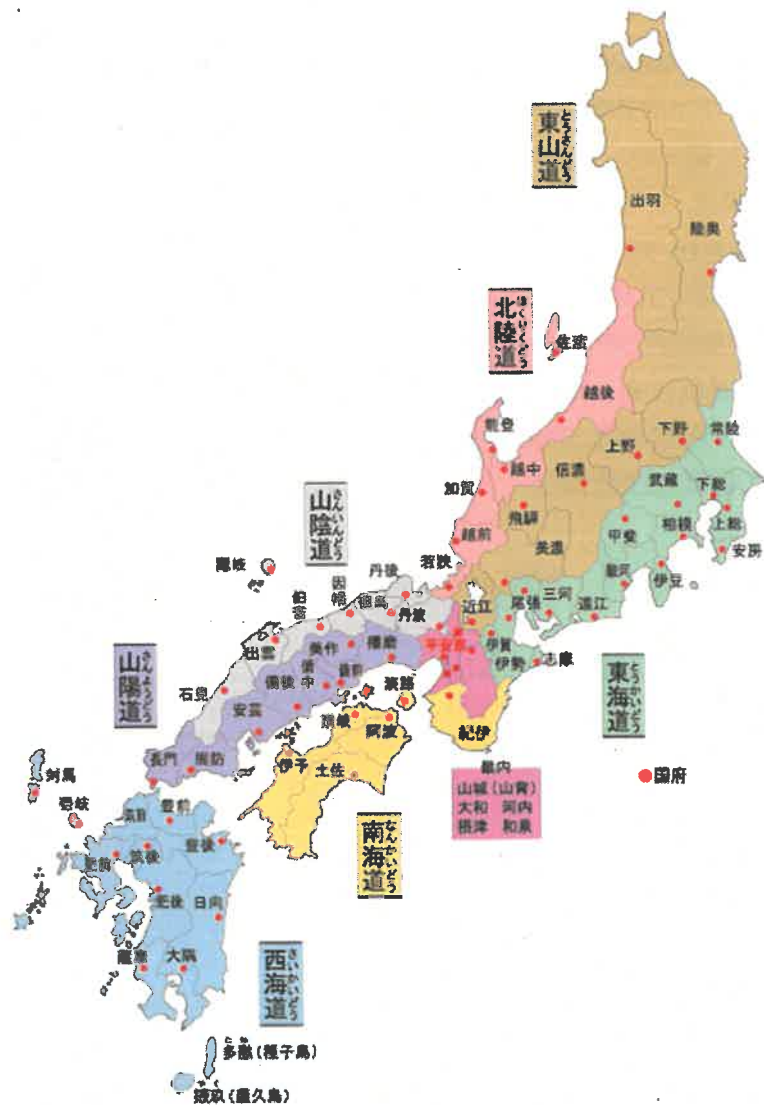


【計画・引率上の注意点】

- 道路が狭くなっている箇所が多いため、歩行時注意
- 緊急時の連絡体制を確認
- 虫除け対策
- 帰校する際に忘れ物を確認



【奈良時代頃の東海道と常陸国】



※地図：国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所webページより転載

https://www.ktr.mlit.go.jp/yokohA mA/tokAido/02_tokAido/04_Q A/index1/A0101e.htm

連絡先：教育委員会事務局指導課 029-229-2415

【展開例】

テーマ	武田氏館ってどんな場所？	
ねらい	○当時の武士の館や暮らしの特徴を知る ○茨城県域の当時の武士の勢力図やひたちなか市域の当時の主要な地区や街道を知る	
準備	救急用品・カメラ（またはタブレット端末）・観察記録用紙	
事前	<input type="checkbox"/> 1 武田氏館の場所を把握 Q 1 戦国時代の頃の武將で知っているのは誰？ Q 2 武田信玄はどれ？（三択） A ア：上杉謙信の絵 イ：織田信長の絵 ウ：武田信玄の絵 Q 3 武田信玄は主にどこの国を治めた武將？（三択） A ア：越後（新潟） イ：甲斐（山梨） ウ：美濃（岐阜）	
	<input type="checkbox"/> 2 当日の準備物や安全上の注意事項について聞く	
当日	<input checked="" type="checkbox"/> 1 武田氏館、歴史資料展示を見学 Q 1 今の住居と比べてどこが違う？ A 柱だけで間仕切りがない。集まりやすくするためか？ Q 2 なぜ、入り口が張り出しているのか？ A 主のいる主屋から、門を見張ることができ、外敵の侵入に早く気付くことができる（「主殿づくり」と呼ばれる珍しい様式） Q 3 この建物は木がずれないようにどうやって組み立てている？ A 釘は錆びてしまうので、木組みを基本に建てられている Q 4 武士はどのような暮らしを送っていた？（三択） A ア：ほとんど戦いに出っていた イ：武芸を磨きながら農業も行っていた ウ：山中で田畑を開墾していた	
	<input checked="" type="checkbox"/> 2 敷地内の馬屋を見学 Q 5 馬は主に何に使われていたのか？（三択） A ア：食肉 イ：耕作・運搬 ウ：戦い Q 6 当時の日本の馬は今のどれに近い？（三択） A ア：牛 イ：ポニー ウ：サラブレッド	
	<input checked="" type="checkbox"/> 3 ゲストティーチャーの説明を聞く (1) 武田氏が本拠としていた1100年頃のこのあたりの武家の勢力分布 (2) 当時のひたちなか市の中心地や主要な街道 など	
事後	<input type="checkbox"/> 現在の家屋との共通点を挙げる <input type="checkbox"/> 茨城県に勢力を張っていた主な武將が江戸時代までにどのように全国に広がっていったかを調べる	

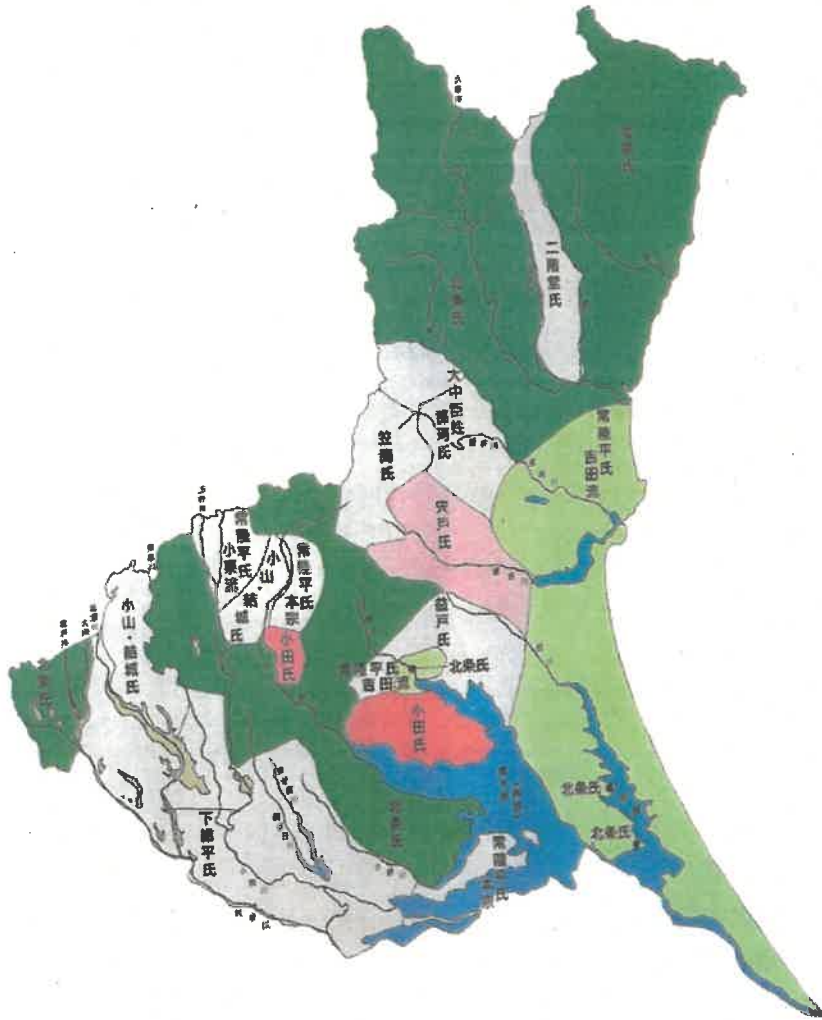


【計画・引率上の注意点】

- 緊急時の連絡体制を確認
- 写真撮影が可能な場所を確認
- 展示物の取扱いについて注意喚起
- 現地撤収時に忘れ物を確認



【鎌倉時代末期の諸勢力図】



(茨城県立歴史館「茨城の歴史をさぐる」88頁より)

【中世豪族の館】



(茨城県立歴史館「茨城の歴史をさぐる」75頁より)

【ひたちなか市周辺の交通図（街道は江戸時代のもの）】



(中学校社会科資料集「ひたちなか」 52頁より)

連絡先：教育委員会事務局文化財室 029-212-9077 ☎現地解説可（常陸佐竹研究会等）

【展開例】

テーマ	那珂湊のあゆみを知ろう！	
ねらい	○ 賁賓閣・反射炉跡を訪ね、それぞれの役割を知る ○ 繁栄から水戸藩内の抗争による荒廃に至った歩みを学び、将来に活かしたいことについて考える	
準備	救急用品・カメラ(タブレット端末)・観察記録用紙・保護者引率依頼	
事前	<input type="checkbox"/> 1 那珂湊の歩みに関する既知を答える Q 那珂湊は何によって繁栄したのか？ <input type="checkbox"/> 2 当日の準備物や安全上の注意事項について聞く	
当日	<p>■ 1 賁賓閣跡(湊公園)を見学、写真撮影 ※高台にあり見晴らしがよい</p> <p>Q 1 賁賓閣とは誰がつくった別荘か？(三択) A ア：徳川慶喜 イ：徳川斉昭 ウ：徳川光圀</p> <p>Q 2 別荘を建てて何に利用したのか？ A 賓客をお迎えし祝宴催す、詩歌を楽しむなど</p> <p>Q 3 那珂湊はどのような理由で栄えたのか？ A 江戸時代、水運の中継地。「西の大阪、東の湊」と称されていた</p> <p>Q 4 例えば仙台の物資を湊に陸揚げした後、江戸までどのようなルートで運んでいたか？(三択) A ア：湊～鹿島灘～江戸 イ：湊～湊沼～北浦～江戸 ウ：湊～湊沼～霞ヶ浦～江戸</p> <p>■ 2 反射炉を見学、写真撮影</p> <p>Q 5 反射炉とは何をするとところ？(三択) A ア：敵に向け熱線を浴びせる イ：灯台の役割 ウ：砂鉄や鉄鋼石を溶かして鉄を製造</p> <p>Q 6 なぜ建設された？ A 海からの敵の侵入を防ぐための大砲をつくるため</p> <p>Q 7 いつ頃つくられた？(三択) A ア：戦国時代 イ：江戸時代前期 ウ：江戸時代後期</p> <p>Q 8 どうして当時の賁賓閣や反射炉は跡しか残っていないのか？ A 幕末の水戸藩内の抗争によって破壊されてしまった</p> <p>Q 9 この戦いから私たちはどういうことを学べる？ A 藩内で意見が統一でき抗争しなければ、明治で主役になったかも</p>	
事後	<input type="checkbox"/> 那珂湊の繁栄や、幕末水戸藩内の抗争について、動画(例)を制作して発表する <input type="checkbox"/> 国内で反射炉が造られた藩、建設を進めた藩主、藩主の幕末における影響力について調べる	






【計画・引率上の注意点】

- 現地の説明板等を見る前に発問
- 緊急時の連絡体制を確認
- 活動・写真撮影範囲を設定(けが防止を考慮)
- 現地撤収時に忘れ物を確認
- 徒歩移動での安全確保(保護者引率の依頼)



連絡先：教育委員会事務局指導課 029-229-2415


【展開例】


テーマ	六ツ野公園の平和記念の塔と海浜公園は何を物語る？	
ねらい	○六ツ野公園の平和記念の塔から艦砲射撃を知り、証言や資料を基に戦争の悲惨さについて考える ○海浜公園は米軍水戸射爆場であったことを知り、返還を訴え続けた市民の思いを想像する	
準備	・資料（写真・地図・年表）、筆記用具、学習プリント（振り返り用）、救急用品 ・戦争に関する写真パネル（市総務課経由で貸出可能）	
事前	<input type="checkbox"/> 1 六ツ野公園、国営ひたち海浜公園の位置を地図で確認 Q 1 六ツ野公園には何がある？（列挙） Q 2 海浜公園は何で有名？（列挙） Q 3 海浜公園ができて（1991 一部開園）何年？（三択） A ア：約 80 年 イ：約 50 年 ウ：約 30 年 <input type="checkbox"/> 2 当日の準備物や安全上の注意事項について聞く	
	■ 1 戦争当時の被害写真を見る ■ 2 六ツ野公園コース …平和祈念の塔を見学 Q 1 どのような思いが込められている塔なのか？ A 戦争で亡くなった方の追悼と平和を願うため Q 2 艦砲射撃とは何か？ 誰がどこから撃ってきたのか？ Q 3 なぜ海から距離のあるこの場所が攻撃されたのか？ A 近隣に軍需関連品の生産を行う工場があったため ※着弾エリア：武田・勝倉、大島・外野 被害：工場 75 発・工場外 293 発、死者約 110 名 ■ 2 国営ひたち海浜公園コース …つばさのゲートから入場 Q 1 公園の前はどのような場所だった？（三択） A ア：日本軍の爆撃練習場 イ：水戸藩の牧場 ウ：米軍の爆撃練習場 Q 2 その前はどのような場所だった？（三択） A ア：日本軍の飛行場 イ：水戸藩の牧場 ウ：さつまいも畑 ※つばさのゲート名前の由来は、日本の陸軍の飛行場であったことに因む Q 3 返還されて（1973）何年？（三択） A ア：約 80 年 イ：約 50 年 ウ：約 30 年 ■ 3 戦争について考える Q 戦争は地域のくらしをどう変えたか？	 
事後	<input type="checkbox"/> 「自分たちにできる平和のための行動」を考え、動画・劇（例）を制作して発表する <input type="checkbox"/> 「かんぼうの会」等に依頼し、平和学習を実施する	

【計画・引率上の注意点】

- 現地の説明板等を見る前に発問
- 緊急時の連絡体制を確認
- 虫除け対策（長袖・長ズボン）
- バス乗降場所を伝達
- 見学時注意事項を伝達



※六ツ野公園 

連絡先：教育委員会事務局指導課 029-229-2415  戦争体験講話可

【展開例】

テーマ	湊鉄道とともに、いろんな土地をめぐる！
ねらい	○鉄道が地域の発展にどう関わり、人々の生活をどう変えてきたかを知る ○今後の鉄道の延伸により、どのようにまちが変わっていくのかを想像する
準備	・観察記録用紙、筆記用具、カメラ（またはタブレット端末）、帽子、飲み物、救急用品 ・一日乗車券（小学生500円）
事前	<p>□ 1 鉄道に関する既知を答える</p> <p>Q 1 市内で創立 150 年以上の小学校は？ A 湊一小、三反田小、勝倉小 等</p> <p>Q 2 これらの学区は創立当時何で繁栄したか？（三択） A ア：農業の中心地 イ：那珂川での漁業の中心地 ウ：水運による物資の集積地 ※那珂川の水運が盛んだった頃（1900年）は物資の集積地だった 集積地：湊一小学区の関戸、三反田小学区の坏、勝倉小学区の船渡</p> <p>Q 3 その後、水運に代わって、何が輸送手段になった？ A ひたちなか海浜鉄道（1913年開通） ※駅：湊一小学区的那珂湊、三反田小学区の中根、勝倉小学区の金上</p> <p>□ 2 当日の準備物や安全上の注意事項について聞く</p>
当日	<p>■ 1 勝田駅から阿字ヶ浦駅まで湊線に乗り、車窓から周囲の景色を見る ※勝田駅→市街地→工場→水田→海→畑→阿字ヶ浦駅</p> <p>■ 2 阿字ヶ浦駅で下車しホームを見学</p> <p>■ 3 鉄道会社の職員へ質問</p> <p>Q 1 どうしてホームが長い？ A 以前は、今よりも多い車両編成だったため。7両まで対応できる</p> <p>Q 2 どうして以前はたくさんの人が利用していた？ A 近くの阿字ヶ浦海水浴場の人気が高かったため</p> <p>■ 4 鉄道の延伸が、地域に及ぼす影響を考える</p> <p>Q 3 鉄道が延伸するメリットは？ A 観光客増加、運賃収入増、地域経済の活性化</p> <p>■ 5 阿字ヶ浦へ行く</p> <p>Q 4 砂浜が綺麗な阿字ヶ浦は、「東洋の何」と呼ばれていた？（三択） A ア：ハワイ イ：ナポリ ウ：ゴールドコースト</p> <p>Q 5 ナポリはどこ国にある？（三択） A ア：フランス イ：イタリア ウ：スペイン</p>
事後	<p>□ 湊線に乗って抱いた想いから川柳や絵画（例）を制作し、駅に掲示してもらう</p> <p>□ まちに鉄道がある良さはどういうところかについて話し合う</p>

【計画・引率上の注意点】

- 駅での活動時には段差に注意する等の注意喚起を行う
- 列車運行時刻を把握しておき、児童の安全確保に努める
- 旧版地形図を参照する際は、「時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」(C) 谷謙二) を活用。資料として利用した際には、出典として明記



連絡先：ひたちなか海浜鉄道湊線那珂湊駅 029-212-8023

〈資料〉

汽船が航行していた頃 (1900年 (明治33年) 頃)



湊線が開通した頃 (1913年 (大正2年) 頃)



- ① 常磐線開通 1897年 (明治30年)
- ② 那珂川汽船航行 1901年 (明治34年) ~1916年 (大正5年)
- ③ 湊鉄道開通 1913年 (大正2年)

「今昔マップ on the web」(<https://ktgis.net/kjmApw/>) より

■編集等協力者一覧

株式会社 あ印 様

井上熏 様

茨城生物の会 様

那珂湊漁業協同組合 様

常陸佐竹研究会 様

日立製作所水戸事業所 様

ひたちなか海浜鉄道株式会社 様

茨城県水産試験場 様

ひたちなか市立中根小学校

ひたちなか市立堀口小学校

ひたちなか市立津田小学校

ひたちなか市立長堀小学校

ひたちなか市立那珂湊第一小学校

ひたちなか市立那珂湊第二小学校

ひたちなか市立那珂湊第三小学校

ひたちなか市立田彦中学校

ひたちなか市立美乃浜学園

ひたちなか市企画部広報広聴課

ひたちなか市経済環境部農政課

ひたちなか市経済環境部商工振興課

ひたちなか市経済環境部観光振興課

ひたちなか市経済環境部水産課

■問合せ先

ひたちなか市教育委員会事務局指導課

029-229-2415

ひたちなか市教育委員会事務局文化財室

029-229-2414 (総務課)

ひたちなか市埋蔵文化財調査センター

029-276-8311